

## 教育委員会 1 月定例会 会議録

- 1 開催日時 令和5年 1月 6日(金) 午後1時から午後2時
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員 教 育 長 丸 山 陽 一  
同職務代理者 近 藤 守  
委 員 塚 田 まゆり  
委 員 茅 野 理 恵  
委 員 鷲 澤 幸 一
- 4 説明のために会議に出席した者  
教 育 次 長 藤 澤 勝 彦  
教 育 次 長 勝 野 学  
参 事 兼 上 石 秀 明  
学校教育課長  
総 務 課 長 北 島 克 彦  
保健給食課長 丸 山 英 樹  
家庭・地域学びの課長 野 池 達 朗  
文化財課長 前 島 卓  
学校支援官 酒 井 好 和  
主 幹 兼 石 坂 陽 子  
総務課長補佐
- 5 書 記 総 務 課 児 島 真 季  
庶務担当主査

丸山教育長が開会を宣した。

<教育長あいさつ>

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

倉石委員の任期満了に伴い、後任として、昨年12月24日付けで鷺澤委員が就任された。鷺澤委員には、これまでの御経験をもとに、次世代を担う子どもたちのために御指導、御鞭撻を賜りたい。

(鷺澤委員が挨拶した。)

市内小・中学校では、本日をピークに3学期が始まる。年末年始の人流増加により、全国的にも新型コロナウイルス感染者が増えているのに加え、県内でも3年ぶりにインフルエンザの流行期に入ったということで、同時流行が懸念される場所であるが、学校では引き続き基本的な感染対策をしっかりと行いながら、子どもたちの体調にも気を配り、元気に過ごせるよう取り組んでいきたい。

昨年6月15日に国において、子ども基本法、子ども家庭庁設置法が成立し、今年の4月1日から施行される。子ども基本法の基本理念には、児童の権利条約の4つの原則である「差別の禁止」「子どもの最善の利益」「生命生存及び発達に対する権利」「子どもの意見の尊重」が盛り込まれており、国や地方公共団体が子どもに関する基本施策を策定し実施評価する際には、対象となる子どもなどの意見を反映させる、つまり、長野市が行っている施策に対しても、子どもたちの意見を反映させるように努力するよう言われている。詳細については、今後国が作る子ども大綱において示されることとなっているので、動向に注視していきたい。公立学校においても、法律の基本理念に沿い、子どもの最善の利益、あるいは子どもの意見の反映などが求められると考えられるので、学校生活のどのような場面、方法でこれらを保障していくか、今後、教職員はじめ保護者や地域住民の皆様に対して、法の趣旨を十分に説明していかねばならないと考えている。また、こども未来部や関係部局と連携を取りながら具体的な議論を進めていく必要がある。さらに、不登校や児童・生徒に対する支援、部活動の地域移行など、喫緊の課題がある。これらの課題解決に向けて、新年度における新規事業や拡大事業にかかる予算要求を財政当局に行っている。後ほど委員の皆様にもご説明し、御意見を頂戴したいと考えている。

・委員異動に伴う事務局職員の自己紹介

<協議事項>

協議1号「令和6年度長野市立長野中学校入学者選抜の実施日程（案）について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

上石参事兼学校教育課長が説明した。

委員 県立中学校に準じた日程ということで、校長会へ選抜要項を出すタイミングと保護者に知らせる時期をうまく合わせていかないと混乱を招いてしまう。県との調整をしっかりと行ってほしい。

勝野教育次長

県や校長会との調整をしっかりと行い、伝達していきたい。

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

協議 2 号「長野市立図書館協議会委員の任命について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

野池家庭・地域学びの課長が説明した。

- ・民生委員児童委員協議会の委員の交代に伴い、任命するもの

丸山教育長が諮ったところ、原案のとおり承認された。

<一般行政報告>

報告 1 号「市議会12月定例会で論議された主な政策課題等について」

報告 2 号「教育費補正予算について」

これら 2 つについて関連のある事柄であるため、丸山教育長が合わせて事務局に説明を求めた。

藤澤教育次長が説明した。

報告 1 号「市議会12月定例会で論議された主な政策課題等について」

主なものを中心に説明した。

- ・全国学力・学習状況調査について
- ・不登校児童・生徒に対する居場所の確保等について
- ・不登校対策（教育環境整備）について
- ・部活動の地域移行について
- ・教育支援センター・中間教室について
- ・青木島遊園地の廃止について
- ・デジタル人材の育成について
- ・学校給食費の無償化について
- ・生理用品のトイレへの設置について
- ・統一教会との関わりについて
- ・子ども議会について

報告 2 号「教育費補正予算について」

- ・議案第83号の歳出内訳については、主に人事異動等に伴う職員人件費減によるもの
- ・小・中・高等学校費については、新型コロナウイルス感染症対策として、国の補助の上限額が学校規模に応じて 1 校あたり、小・中学校は14万円から28万円、高校は33万円がプラスになったので、その分を学校配当予算に加えるためである。社会教育費については、エネルギー価格等の上昇による不足分を計上した。
- ・議案第119号の歳出内訳については、主に給与改定実施に伴う職員人件費増によるもの

委員 報告 1 号（P10）、小・中学校における発達障害のある者の割合で、発達障害のある者の基準は診断を受けた児童・生徒数なのか。

勝野教育次長

担任の判断による、発達障害の疑いを含む児童・生徒数である。

上石参事兼学校教育課長

通常学級における在籍率となっており、特別学級は含まない。

委員 特別支援学級を含めると、もっと高い割合になるということか。

上石参事兼学校教育課長

特別支援学級のみだと、小学校3.8%、中学校4.8%。全部含めると、小学校13%、中学校16.6%となる。

委員 非常に高い数字である。発達障害の疑いのある児童・生徒の中には、環境要因やストレス反応などによって特徴的な行動をする子が含まれている可能性もあるのではないかと危惧されるが、それだけ心配な子を把握しているという点は、プラスにも捉えることができる。

委員 発達障害でなく、特性を持ったお子さんと捉え、教員にもそうした認識を持って指導してもらえると良い。特異な才能を持った子たちを伸ばしていくという認識を広めてもらえれば、割合も減ってくるのではないか。

丸山教育長

全国で8.8%という値が出ていたのは、診断されている人の割合だったか。

上石参事兼学校教育課長

11月18日の県内の新聞報道では、小・中学校合わせて6.46%が、医師の診断などを受けた子であった。これは長野市の特別支援学級に入級している子の割合とほぼ同数である。

委員 不登校の児童・生徒への対応として、様々な取組が行われ、支援されていることが分かったが、今後は、関係する保護者のみでなく、周囲の保護者も、支援について理解できるような形を進めていけると、発達障害の子どもたちの理解や人権感覚育成について変わってくるのではないか。

報告3号「長野市人権同和教育集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

北島総務課長が説明した。

・内容については、教育委員会11月定例会で承認され、12月市議会定例会に提出したもの

報告4号「工事請負契約の締結について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

北島総務課長が説明した。

・地方自治法の規定に基づき、予定価格が1億5千万円以上で、12月市議会に提出し可決されたもの

・工期は共に令和5年11月30日までである。

報告5号「請願について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

北島総務課長が説明した。

・これら2件について、委員会で審査した結果、全員賛成で採択されたもの

報告6号「長野市立芋井公民館の指定管理者の指定について」

報告7号「長野市立信更公民館の指定管理者の指定について」

報告8号「寺町商家の指定管理者の指定について」

これら3つについて関連のある事柄であるため、丸山教育長が合わせて事務局に説明を求めた。

報告6号「長野市立芋井公民館の指定管理者の指定について」

報告7号「長野市立信更公民館の指定管理者の指定について」

野池家庭・地域学びの課長が説明した。

- ・12月市議会定例会に提出し、可決されたもの
- ・非公募において選定、指定した。

報告8号「寺町商家の指定管理者の指定について」

前島文化財課長が説明した。

- ・12月市議会定例会に提出し、可決されたもの
- ・公募で、1団体の応募のみであった。平成27年の施設発足以来、指定管理者を受けており、地域住民との連携等で効果的な運営ができるということから指定したもの

委員 指定管理料は一律なのか。どのように決めているのか。

野池家庭・地域学びの課長

一律ではない。住民自治協議会からの提案により決定している。

前島文化財課長

寺町商家についても、受託者からの提案を審査し決定した。

<その他>

○教育委員会の主催、共催及び後援事業について（北島総務課長）

主催事業0件、共催事業1件、後援事業22件（賞状交付1件）

○「令和4年度 長野市子ども議会」の開催について

勝野教育次長が説明した。

- ・今後は、4月から施行される、子ども基本法の内容を目的の一つとして見据えて行っていく予定である。

委員 今後、普段子どもたちが総合的な学習などで学んだことからピックアップし、学校から推薦してもらえると良いのではないかと。普段の学びの中からつながっていくことができるとより良い。

勝野教育次長

子ども議会は本年度で8回目を迎え、やや形骸化している部分もある。法律にもあるよう、中身を大事にしていきたいので、いただいた御意見を参考にし、検討していきたい。

委員 参加する児童・生徒はどのように選ばれているのか。

勝野教育次長

「わくわくリーダーズながの」の活動をしている市内小・中学生からの希望者に加え、全ての小・中学校に募集をかけている。

委員 希望者が多ければ、参加できない子もいるということか。

勝野教育次長

例年おおむね募集人数と希望者が同程度になっているが、多い場合は、進行役をしてもらったり、似た内容の意見・提案は複数人で一緒に行ってもらうなど希望者全員が参加できるよう工夫して行っている。

委員 具体的な事例を示し、子どもたちの意見が実現するかもしれないということをもっと広めていけると良い。

次回以降の日程確認（北島総務課長）

2月定例会 2月1日（水）午後3時から 教育委員会室  
3月定例会 2月21日（火）午後3時から 教育委員会室

丸山教育長が閉会を宣した。

令和 年 月 日

会議録署名委員

教育長

同職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員